

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



花巻傘

材料の竹は県内の真竹を用い、和紙は岐阜県的美濃和紙や栃木県の鳥山和紙を使用。全工程を一貫して丁寧な手作業で行っています。江戸時代からの伝統の技を受け継いだ丈夫で実用的な花巻傘は、全国から注文があります。

会社名 花巻傘滝田工芸

所在地 花巻市高松26-3(☎0198-31-2128)

会社概要 大正元年創業の県内唯一の和傘店。蛇の目傘や番傘を中心にインテリア用のミニ傘や壁掛け傘を製作・販売。その他、オーダーメイドの花巻傘も注文に応じて製作している

**千円のはずが20万円の工事に
こんな契約トラブルにご注意!**

■どんなトラブルがあるの?

○「近所で工事をしているので、いさつに来た」という男性から、「屋根の鬼瓦が傾いていて、隣の家に落ちる可能性がある。今なら残っている材料で、千円で直してあげる」と言われ、修理をお願いしました。工事終了後さらに「このままだと雨漏りするの、屋根全体を修理した方がいい」と言われ慌ててしまい、家族などに相談をしないで20万円の

工事契約をしました。

■注意することは?

○「鬼瓦が傾いている」などの事前説明が事実でない場合もあります。その場では契約せず、相手の言うことが事実なのか、必要な工事かなどを家族や周囲の人に相談しましょう。

○工事を頼むときは、複数の業者から見積もりを取ってから検討しましょう。

■困ったときは?

○市民生活総合相談センター(☎24-2111)内線259)へ相談しましょう

市民生活コーナー

パーソナル

PERSONAL'S

87



あべ たくみ さん
阿部 巧 さん
(上似内 34歳)

小さいころからの経験生かし 鹿踊を支える若き舞手

◆花巻春日流上ノ山鹿踊保存会で活動していると伺いましたが

叔父から誘われて、22歳から活動しています。これまで、台湾や姉妹都市のホクトスプリングス市など海外でも数回公演を行ったことがあります。

◆鹿踊の経験はありましたか?

花巻農業高校で鹿踊部に所属していました。高校の鹿踊部と保存会とは、足さばきなど踊り方に違いがあったので、少しとまどいましたね。それから、宮野目保育園子ども鹿踊がことして30周年になるそうですが、その第1期生なんです

よ。小さいころから鹿踊は自分にとって身近なものだったと思います。

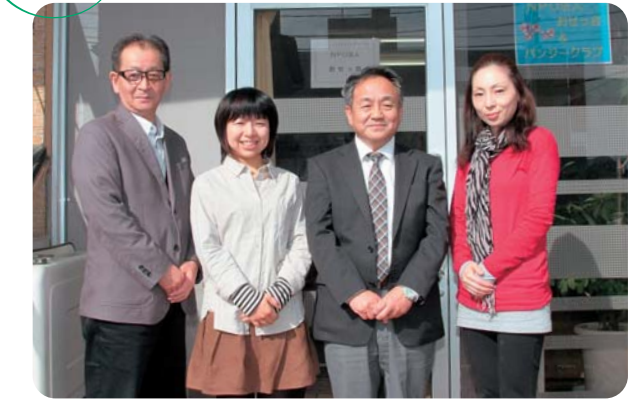
◆活動を通して感じることは?

祭りや結婚式などで踊ることが多いのですが、観客の皆さんから拍手をもらったときがやりがいを感じる瞬間です。20キある装束を身に付けて踊るのは体力を使いますが、拍手で疲れも吹き飛びます。

◆今後の目標は?

もっと多くの若い世代が鹿踊に取り組んでくれたらうれしいですね。そして、郷土芸能を見る機会がない人たちに、伝統ある鹿踊を見てもらいたいです。

いきいき仲間たち



男女の出会いを応援

NPO法人おせっ会

【問い合わせ】
代表 松坂末広さん(事務所☎29-4192)



同会がセッティングするお見合いなどで、新たな出会いが生まれています

少子化対策に役立ちたいと平成22年10月に設立された「NPO法人おせっ会」。4人のスタッフと、「おせっかいさん」と呼ばれるボランティアの皆さんが結婚活動を支援しています。

「出会いはいきっかけが大切。多くのチャンスを提供したい」と話す代表の松坂末広さん。その取り組みとして、独身男女の出会いパーティーの開催や、お見合い相手の紹介とその場の提供などを行っています。

同会の活動を通じて結ばれた会員はこれまでに16組。現在交際中の会員は約30組にも上ります。

「会員から、結婚や交際の報告をもらうのが何よりうれしい。活動のやりがいになります」と話すスタッフの皆さん。温かい「おせっかい」で出会いが育まれています。

The world and HANAMAKI 世界と花巻

vol.8



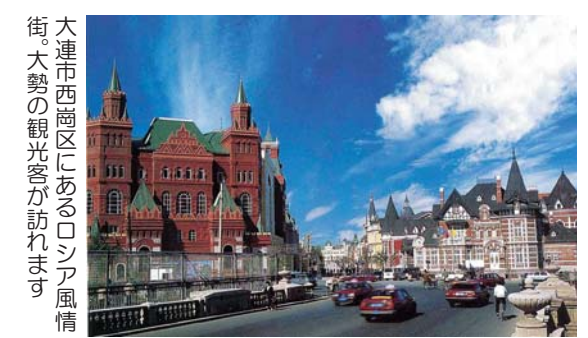
協力交流研修員
ユウブ 吳 勇武 さん

いて、仙台市やアメリカのサンフランシスコとほぼ同じ緯度であり、四季がはっきりしています。面積は岩手県と比べると少し小さいです。皆さんは大連と聞いてもあまりイメージが湧かないかもしれませんが、日本とは深いつながりがあります。

大連は花巻市を含む11の県や市と友好協定を結んでいて、大連空港は日本の九つの空港と直行便で結ばれています。

2011年の調査では、大連在住の日本人は6,175人で、日本人観光客は年間約51万人に上ります。この数値は外国人観光客数のおよそ44%に当たります。また、2012年の外資企業社数は14,477社で、そのうち日系企業は4,308社あり、その他の国を大きく上回っています。

このように、大連は中国の中でも非常に日本との関わりが深い都市です。現在も多くの日本人が仕事や勉強のため、大連で生活しています。



日本と大連は深いつながりがあります

私は中国の瀋陽市出身の吳勇武です。中国の山東大学を卒業した後、日本の立教大学で法律を勉強し、現在、大連大学法学院に勤務しています。ことしの9月に中国の大連市西崗区から協力交流研修員として花巻市に来ました。花巻市では市役所の国際交流室で働いています。

大連は中国東北地区、遼東半島の南端に位置して